

# 新型インフルエンザ対策への取組みについて

## 医療体制

### 外来体制

- 対応医療機関 630 医療機関
- 発熱外来用感染防護具 6,200 セット備蓄 (強毒用)
- 対応医療機関用マスク・手袋 855,000 枚配布
- ※11月までに配布予定

### 入院体制

- 入院患者受入病床として 529 床確保 (13 病院)
- ※入院患者数試算 435 人
- 新型インフルエンザ(A/H1N1)の流行シナリオ発症率20%をもとに試算
- 重症患者への対応として人工呼吸器 26 台整備支援
- ※うち 10 台 H20 に整備済

### 抗インフルエンザウイルス薬

- H18~19 タミフル 102,000 人分備蓄
- H21~23 タミフル 118,400 人分  
リレンザ 12,300 人分備蓄予定
- 備蓄目標総数 232,700 人分
- ※9月現在 タミフル 141,500 人分備蓄済  
リレンザ 10月に7,540人分納入予定
- ※流通において不足が生じた場合、県備蓄薬を供給。供給後、さらに流通に不足が生じた場合、国が備蓄薬を供給。

### ワクチン接種

- 接種スケジュールの決定
- 受託医療機関のワクチン在庫量等を把握し、ワクチンの円滑な流通を確保

## 検査体制

- 衛生研究所における詳細検査 (遺伝子検査) 体制整備

## サーベイランス体制

- 地域における感染拡大の早期探知
  - ・クラスター (集団発生) サーベイランス
  - ・インフルエンザ様疾患発生報告
- 重症化及びウイルスの性状の監視
  - ・ウイルスサーベイランス
  - ・インフルエンザ入院サーベイランス
- 発生動向把握
  - ・インフルエンザサーベイランス

## 情報提供・相談

- 感染予防のための咳エチケット、手洗い・うがいの励行、医療機関を受診する際の事前連絡・マスク着用、軽症患者の安易な夜間救急受診の自粛、基礎疾患を有する患者・妊婦等の早期受診等について周知
- ※今後、ラジオスポット、新聞折込チラシを利用して上記のほか、ワクチン接種等について広報
- 自宅療養の手引き (自宅療養時の留意点等。英語、中国語、韓国語、ポルトガル語版もHPに掲載) 作成
- インフルエンザ外来診療の手引き (外来診療を行う際の留意点、保健所との連携等) 作成
- 各保健所に発熱相談センター、保健薬務課に相談窓口設置。受診する医療機関が分からない方への医療機関紹介。
- ※保健所は自宅療養患者への電話相談対応等の情報提供実施